

その1 福島からの原発被害実態レポート

会員のHさんから福島原発の影響の報告です（Hさんの実家は第一原発から直線で41km（二本松市南端）・親族が28kmに居住（葛尾村））。

「葛尾村の親戚〇〇は計画避難地域指定の遙か以前、3月25日には既に郡山市の親戚宅に転居。4月末でも同村では牛の世話の為に多くの方が残留していました。

地域の大人たちは、子供への放射能の影響を一番心配しています。

（5月連休時の様子は・・・）実家の大姪・幼稚園児の〇〇ちゃんは、外に出る時はマスク、帽子、ズボン、ブーツを着用し、食品は買ったもののしか食べません。地震以来ママべったりで、幼稚園が休みでも下の居間には来ないので、ジジババが寂しがっていました。（郡山市に仮住まいの）〇〇一家も計画避難地域で荷物が運べるうちという事で、仕事が休みの時は荷物を軽トラックで運んでいました。高速道路も日立から先は所々、凸凹でした。見た目では、あちこちの瓦屋根のぐうし（一番上の瓦）が壊れていて、ブルーシートに重りをのせてありました。

今年の農作業は実家周辺では、4月に市（二本松市）が行った土壌検査の結果が出て、取りあえず稲作はOKが出ましたが、収穫時に改めて放射能の残留検査を行い食用などが可能かどうか判断されるそうです。

原発の収束見通しが立たない中で、誰もが不安ながらも普段通りの生活を何とか過ごそうとしています。

（地名や位置は上図を参照下さい）



ご協力をお願いします！

<カンパのお願い>

チラシ&署名用紙の紙代などに使います。

郵便振替口座 00100-4-546300 名称「ごみ有料化納得できない会」

「ごみ有料化。納得できない！三鷹市民の会」 & 「Team ごみゼロみたか」

ごみにケーション NO.8



Fax; 44-0364 谷島方

メール・・・team.gzm0528@smail.plala.or.jp

ブログ・・・納得できない！三鷹市民の会

<http://mitakanogomi.blog.shinobi.jp/>

ブログ・・・Team ごみゼロみたか

<http://gzm2.3rin.net/>

三鷹市でも出来る あんなこと。こんなこと。

家庭ごみの有料化から1年半。三鷹市は「有料化の効果があった」と喧伝していますが、どうでしょうか？

近隣の自治体では有料化ではない方法で「ごみの減量」や「循環型社会」への取り組みを行っています。

（2010/10/02 開催のごみゼロサミットでの報告から）

その1、**ペットボトルの回収**（国分寺）

リサイクルセンターのない国分寺市は、ペットボトルの行政回収は、小学校と公民館に持参するものだけ。したがって、「持ってこ 買ってこ」運動で、店頭回収の利用を奨励しています。21年度回収量は181トン、小金井市の57%弱。課題は燃えないごみへの混入。特に単身者等への啓発が必要とのこと。

市民団体「5303の会」は、市と協同でごみ減量に取り組んでいます。「5303」とは、清掃センター減量係の電話番号だ。

その2、**新しい市民へごみ分別方法の丁寧な説明**（多摩市）

「ごみ減量は、正しい分別から」ということで、転入手続きとともに、新市民がごみをきちんと分別できるよう、市役所本庁ロビーに「転入者ごみ分別説明コーナー」を設けています。ごみの分別指導は、NP Oが担当。多摩市は、積極的に市民の意見・アイデアをごみ減量に反映している自治体の一つです。

家庭ごみ有料化を、 市民の目線で検証

・・・・・・第一弾・・・・・・

平成 21 年 10 月から三鷹市で始まった家庭ごみの有料化は、どのような結果をもたらしているのか？

市は昨年 11 月 28 日の広報（ごみ有料化特集号）で、8.7%の減量（有料化以前の 1 年間同時期との比較で）を実現したと発表しました。通常のごみ量などのデータは年度ごとに発表されるので、比較などの分析と検証に時間を要してしまいました。今年 8 月の多摩全域のごみ量の発表時で、比較可能な数値が出揃いますが、現時点で出来る検証結果を概要でまとめました。

Q、減量は進んだか

A、三鷹市は、「進んだ」としています。

可燃＋不燃量は、予測を超えて減りました。しかし、分別開始時にはその量の倍近く減っていることも見逃せません。（上表「小計欄」参照）
（私たちは単純に「有料化ではごみが減らない」と主張しているわけではありません。）
8 月に最終的な比較できる数値を待って改めて検証したいと思います。

Q、資源化は進んだか

A、上記の表「資源物欄」の通り、有料化よりも分別での効果が予測を大きく超えて達成しています。しかも資源化の予測数値をはるかに下回っています。有料化のみでの資源化には、限界があるようです。

Q、環境負荷はどう変化したか

A、有料袋製造過程と使用と廃棄で、確実に新たなCO2が発生しています。

年度	19 年度	21 年度	増減	新ごみ施設費を除く増減	有料化にかかった費用	有料化に伴う収入
ごみ処理経費	29 億 0796 万	37 億 4200 万	+8 億 3404 万	+2337 万	8600 万＋α	7 億 2624 万
新ごみ施設関係費		8 億 1067 万				

注釈各年度の数値は「予算概要」から、有料化に関する数値は「広報みたか 2010/11/28」より

	有料化による予測数値			実 際			参考 17 年の分別による効果	
	19 年度 (トン)	有 料 化 に よる効果 (トン)	増減率 (%)	市 報 1 年 後 版 (トン)	増 減 (トン)	増 減 率 (%)	増 減 量 予 測 (トン)	実績 17 年度 (トン)
可燃	26503	△2597	△9.8	26099	△3457	△13.2		△3443
不燃	2219	△235	△10.6	2505	△709	△28.3		△4432
小計	28722	△2832	△9.9	28604	△4166	△14.5		△7875
焼却量	34878	△2597	△7.4	31982	△2558(注1)	△8.0		△3443(注2)
資源物	17656	+2832	+16.0	12858	+336	+2.6	+4600	+6515
焼却灰					△3457		△460	△3443
CO2					△21042		△2800	△20957

注釈1表中の数値は「総ごみ量と総資源化量の推移 2007 年3月20日」「三鷹市のごみ量の推移 2010 年1月13日」「家庭ごみ有料化 1 年間の結果 2011 年1月17日」「三鷹市アクションプラン16年度版」「三鷹市各部各課の事業計画22年度実施分」等より算出
注釈2注1 & 注2は当会の計算

また、焼却灰&CO2 は減っていますが、エコセメントの環境への負荷については統計資料がありません。

（エコセメントに閉じ込められた物質《焼却灰に残留した有害物質》の自然界への流失の可能性の有無は不明＝エコセメント長期使用での流失があるのではないかとこの疑問が残っています）

Q、ごみ処理経費は減ったか

A、増えました（但しこれには新ごみ処理施設の建設費計上も関係）。
有料化初年度とはいえ、ごみが減っているのに費用は逆に増えました。

Q、ごみ処理経費の負担の公平化は行われたか

A、単純に分別しない人だけ負担が増えるというわけでは無く、有料化 1 年間で 1 世帯あたり 2700 円分の有料袋の購入費用が発生しています。
（袋の売り上げ／2 億 3680 万円 三鷹市世帯数／87513 世帯（2010 年）
→1 世帯あたり約 2700 円分買っていることになるので。「広報みたか 2010 年 11 月 28 日」及び「三鷹を考える論点データ集」より試算）

Q、ごみ処理施策は拡充されたか

A、有料化以外に、この間に新たに実施された施策は無いに等しい状態です。
（ビン・缶の回収を通常ごみと同じ方法で回収することは試験段階）
（環境基金については別途にて検討）（続く）

・・・・・・環境施策」「ライフスタイル」「循環型社会への転換」「まとめ」については次号にて検証を行います。 ご意見や、感想をお寄せ下さい。・・・・・・